

2007 年 4 月 20 日

最高水準の安全性

MINI Cooper が EURO NCAP 自動車衝突安全テストで 5 つ星に輝く

極めて効果的、かつ総合的な乗員安全性を実証

ミュンヘン発：ニューMINI は楽しいだけでなく、セグメント内でも最高の安全性を誇ります。このたび、ニューMINI の極めて有効なパッシブ・セーフティーのシステムが EURO NCAP 自動車衝突安全テストで最高得点を獲得しました。ニューMINI Cooper の優れた安全性が 5 つ星を獲得したことで、乗員安全性の分野でもこのスモール・プレミアム車が BMW Group の最高水準の安全性、そして小さいながらも総合的な安全性を備えていることを証明しました。

EURO NCAP 自動車衝突安全テストにおいて、ニューMINI Cooper は正面、側面およびポール衝突の試験で優れた結果を残し、乗員に対する怪我の危険性があらゆるケースで極めて低いということを証明しました。

ニューMINI Cooper は正面衝突における車の変形挙動で 16 ポイント中 13 ポイントを獲得、さらに側面および円柱衝突における変形挙動で 18 ポイント中 16 ポイントを獲得しました。これらが総合的に評価されました。さらにニューMINI Cooper のチャイルド・セーフティーも平均を上回る結果を残しています。

厳密に定義された車体構造から、電子制御された拘束システム、堅固なパッセンジャー・セルなど、MINI の総合的セーフティー・コンセプトがこのような優れた結果につながったと言えます。

ニューMINI Cooper には合計 6 個のエアバッグが標準装備され、さらに 4 つの座席全てに 3 点式シートベルト、後部シートには ISOFIX チャイルド・シート固定装置が装備されています。運転席および助手席は、フロントおよびサイド・エアバッグで保護されます。サイド・エアバッグは前席シートのサイド・サポート部分外側に内蔵されており、ドライバーと助手席乗員の胸部を保護します。

大きなカーテン式ヘッド・エアバッグは、必要なときにルーフ・ライニングから展開し、前席および後席乗員の頭部を保護します。さらに前部シートのシートベルトには、ベルト・テンショナーとベルト・フォース・リミッターが装備されています。

これらの能動的拘束装置（ベルト・テンショナー、エアバッグ）は、集中制御安全システムが制御しています。B ピラー内蔵および床下中央に取り付けられたクラッシュ・センサーで衝撃力と方向を測定し、測定データに基づき事故の状況に合わせて最適な拘束装置および安全装置を起動させます。

ニューMINI には、全てのシートにベルト警告灯も装備されています。また、チャイルド・シートを助手席に取り付けた場合などには前部エアバッグが解除されたことを示す信号が点灯します。

ニューMINI Cooper が EURO NCAP 自動車衝突安全テストにおいて最高の 5 つ星を獲得したことで、BMW Group の車両開発における高水準の安全性が裏付けられる結果となりました。NCAP のテスト方法は、新車に課せられるテストの中でも世界で一番厳しいテストと認識されています。EURO NCAP テストは、ヨーロッパの政府や自動車クラブ、消費者保護組織に認められた事故安全性の基準となっています。このような NCAP 衝突安全テストは、アメリカと日本でも実施されています。

EURO NCAP 衝突安全テストで最も重要となるのは、特定の条件化における前面および側面の衝突です。このオフセット衝突と呼ばれる衝突試験では、速度 64km/h (40mph) で車体前面の 40% だけを変形可能な障害物に衝突させます。その結果、衝突時の衝撃力は車両の前方部分にのみ作用しますが、これらの衝撃エネルギーは拡散して車両全体に出来る限り吸収される必要があります。

ニューMINI の場合、予め規定された軌道に従って車両に作用するエネルギーを転換および吸収することにより、衝突時の衝撃の拡散を行います。このために床下、壁面、バルクヘッド、前面部、後部、ルーフ、さらにクラッシュボックスのサイズや位置において、耐力構造が厳密に調整され、1 つに統合されています。最も重要なのは、ひどい衝突の場合でもパッセンジャー・セルの形や領域を生存域として保持することです。

EURO NCAP 衝突安全テストの側面衝突試験では、速度 50km/h で静止しているバリアーに衝突させます。このテストでは付加要素として、直径 25cm のポールを速度 29km/h (18mph) で車両側面に衝突させた場合の乗員の頭部への影響のテストも含まれます。ニューMINI Cooper は、変形も軽度で、怪我の危険性を最小限に留め、この課題を模範的な結果で克服したのです。

衝突の危険性を軽減するために、ニューMINI の開発当初よりパッシブ・セーフティーに加えて、アクティブ・セーフティーにも焦点を当ててきました。ニューMINI Cooper のアンチ・ロック・ブレーキ、ブレーキ・アシスト、コーナリング・ブレーキ・コントロール (CBC)、エレクトロニック・ブレーキ・フォース・ディストリビューション (EBFD) といった非常に効果的なブレーキシステムの他にも、スイッチ操作で作動解除できるオートマチック・スタビリティ・コントロール+トラクション (ASC+T) やダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) がオプションとして用意されています。

全てのニューMINI には、車輪の速度を比較してタイヤ空気圧を常時モニターするタイヤ・パンク表示機能も装備されています。タイヤ空気圧が標準よりも 30% 以上落ちた場合に、自動的に警告灯が点灯します。これにより、パンクによる事故の危険性が削減されます。

さらに重要な安全機能として、全てのニューMINIにはパンクしても一定距離を走行できる特性を持ったランフラット・タイヤがオプションとして用意されています。MINI Cooper Sには標準装備されています。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
MINI カスタマー・サポート:フリーダイヤル 0120-56-5532 をご掲載ください。
受付時間:年中無休 24 時間対応
MINI インターネットウェブサイト: <http://www.mini.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは:
BMW Japan Corp. 広報室:043-297-8303 (製品広報)